

【聽譯】 星色夜空



星が広がる空
一人立ち止まって
伝えられずにいる
この想い 見上げて

廣闊星空下
一個人駐足
傳達不到的思緒
仰頭許下心願

目に見える物は
全部 愛おしくて
耳に届く音は
何もかも美しい

眼中映入的事物
全部都如此可愛
耳中傳入的聲音
句句都如此美麗

星を 線で結んで
君を描いて
瞳 の中に 映した
いつも 強がる
私は突っぱねて
本当は 君が居ないと
駄目なのに

用線條將星星連起來
畫出你的樣子
牢牢記在眼中
一直在 逞強的
我一直在抗拒
其實 沒有你
就完全不行

遠く 遠く 続してる空
その向こうで 君は 何
想う
いつか消える あの星の
下
永遠を願い 想い 見上げ

向遠方延展的夜空
那一端的你 在想什麼
不知何時會消失的 那顆
星下
但願人長久 許下心願

強く弱く 光を放つ
君の近くに 北斗七星
そんな 輝きであるよう
に
君を想い 願い掛けて

忽強忽弱 閃爍亮光
你的附近 有北斗七星
就像那星的耀眼
帶上我對你的想念

夜が明けていく
君を想えなくなる
朝が来る頃には
また強がってしまう
微かな光は
もっと愛おしくて
朝へ向かう音に
耳を固く塞ぐ

夜漸漸破曉
想你的時間將盡
迎來早晨的時候
又要逞強起來
細微的光亮
愈發變得愛惜
對着破曉的聲音
嚴實地堵上耳朵

時を止めて夜が続いてく
魔法が
この手に あればいいの
に
本当は君と居るときも
同じように
ずっと 思っているのに

如果有能讓時間停止繼續
夜晚的魔法
在我手上的話就好了
其實和你在一起的時候
也是一樣
一直在想着你

長く 永く 続いてる夜
この闇の中で 君を想う

夜晚永遠持續下去
這片黑暗中 在想着你

いつも隠して持ち歩いた
君がくれた人形見つめ

一直藏在身邊隨身帶着
盯着你給我的人偶

弱く 強く 何度も 君
の
名前を 繰り返し 呼ん
でいる
よく間違えては怒られた
覚え難い 愛しい名前

細聲地大聲地 無數次
翻來覆去呼喊你的名字
經常搞錯惹你生氣
很難記的 喜歡的名字

遠く 遠く 続いてる空
その向こうで 君は 何
想う
いつか消える あの星の
下
永遠を願い 想い 見上げ

向遠方延展的夜空
那一端的你 在想什麼
不知何時會消失的 那顆
星下
但願人長久 許下心願

強く 弱く 光を放つ
君の近くに 北斗七星
そんな 輝きであるよう
に
君を想い 願い掛けて

忽強忽弱 閃爍亮光
你的附近 有北斗七星
就像那星的耀眼
帶上我對你的想念

這首魔理莎和愛麗絲的「星色夜空」用詞都比較簡單，就只放註音版吧。只不過翻譯的時候，譯着譯着還在想，歌詞中提到兩人分處兩地的思念，會不會不僅僅是遠距離，而是壽命論下的陰陽兩隔呢？

ほし ひろ そら
星が広がる空
ひとり た ど
一人立ち止まって
つた
伝えられずにいる
おも みあ
この想い 見上げて

め み もの
目に見える物は
ぜんぶ いと
全部 愛おしくて
みみ とど おと
耳に届く音は
なに うつく
何もかも 美しい

ほし せん むす
星を 線で結んで
きみ えが
君を描いて
ひとみ なか うつ
瞳の中に 映した
いつも つよ
いつも 強がる
わたし つ
私は突っぱねて
ほんとう きみ い
本当は 君が居ないと

だめ
駄目なのに

とお とお つづ そら
遠く 遠く 続 いてる 空
む きみ なに おも
その 向 こうで 君は 何 想 う
き ほし した
いつか 消える あの 星 の 下
とわ ねが おも みあ
永遠を 願い 想 い 見 上げ

つよ よわ ひかり はな
強く 弱く 光を 放 つ
きみ ちか ほくとしちせい
君の 近くに 北 斗 七 星
かがや
そんな 輝 きであるように
きみ おも ねが か
君を 想 い 願 い 掛 けて

よる あ
夜が 明 けていく
きみ おも
君を 想 えなくなる
あさ く ころ
朝が 来 る 頃 には
つよ
また 強 がってしま う
かす ひかり
微 かな 光 は
いと
もっと 愛 おしくて
あさ む おと
朝 へ 向 かう 音 に
みみ かた ふさ
耳を 固 く 塞 ぐ

とき と よる つづ まほう
時を止めて夜が続いてく魔法が

て
この手に あればいいのに

ほんとう きみ い おな
本当は君と居るときも 同じように

おも
ずっと 思っているのに

なが なが つづ よる
長く 永く 続いている夜

やみ なか きみ おも
この闇の中で 君を想う

かく も ある
いつも隠して持ち歩いた

きみ にんぎょう み
君がくれた人形 見つめ

よわ つよ なんと きみ
弱く 強く 何度も 君の

なまえ く かえ よ
名前を 繰り返し 呼んでいる

まち おこ
よく間違えては怒られた

おぼ にく いと なまえ
覚え難い 愛しい名前

とお とお つづ そら
遠く 遠く 続いている空

む きみ なに おも
その向こうで 君は 何想う

き ほし した
いつか消える あの星の下

とわ ねが おも みあ
永遠を願い 想い 見上げ

つよ よわ ひかり はな
強く 弱く 光を放つ

きみ ちか ほくとしちせい
君の近くに 北斗七星

そんな かがや
輝きであるように

きみ おも ねが か
君を想い 願い掛けて